



3つのひかり 未来をつくる

広島市立大学
Hiroshima City University

染織造形による作品制作とその応用

研究キーワード：染織、ファイバーアート、綴織、テキスタイルデザイン、ホスピタルアート、手で触れて鑑賞するアート

芸術学部 デザイン工芸学科 染織造形

教授 野田 睦美 NODA,Mutsumi

研究シーズの概要

特徴的な視覚と触覚を併せもつ日本独自の素材を用いて、伝統的な染織技術を基に独自の織技術と光と影を融合させた作品とその応用について研究しています。

研究シーズの詳細

◆研究例その1

タキイ種苗株式会社(本社)品質管理センター新建築メインオーナメント
『導管』h.2,310×w.6,350×d.260
素材：特殊組紐,ポリエステル糸,麻糸,木,合成樹脂製可とう電線管
技法：コイリング,綴織



◆研究例その2

アควア広島センター街 40 周年記念メインオーナメント+広島市立大学 20 周年記念,~地域と人を結ぶ賑わいの創出~
『結び』h.2,150×w.8,000×d.1,800
素材：特殊組紐,合成金糸
技法：マクラメ



◆研究例その3

医療法人 恕泉会リハビリテーション病院新建築メインオーナメント
h.1,950×w.2,750×d.280
素材：防虫網,特殊組紐,ポリエステル糸,ポリエチレン線,紙糸,絹糸,銀糸
技法：綴織,輪奈織,結び織,刺繍,熱処理



◆研究例その4

京都国立近代美術館

視覚障害のある方もより深く鑑賞できるプロジェクト

「感覚をひらく-新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業」

「手だけが知っている美術館第2回染織」ワークショップ:アルパカ手織りのショートマフラー制作
京都府立盲学校と京都国立近代美術館による連携授業にかかる鑑賞ツールの制作



想定される用途・応用例

◆染織造形による製品開発

◆公的施設、民間施設などにおいて多様なイメージや光環境を踏まえたオーナメント制作

◆学校、病院などで手で触れて鑑賞するアートの提供

セールスポイント

近年、世界的に人の手による技術を駆使した造形の再評価が高まっており、人の感性を中心とした日本の繊維の快適性をもって生活環境の質を向上させる役割をますます広げることを期待されています。集団的及び個人的な場所において染織による造形の効果的な取り入れ方について提案、実制作可能です。

問い合わせ先：広島市立大学 地域共創センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)